

栗氏魚譜

卷十

栗氏魚譜 10冊 寄別11-31 01-138

国立国会図書館







前

文政九年丙戌四月鯪魚，腹  
松前ニ于得ルヨシ越後船乗

栗氏魚譜 10冊 寄別11-31 01-139

国立国会図書館







壁虎魚  
琉球産

腹ハ子安貝ノ口ニ似タリ

唇ノ処  
淡赤ニテカハハノ口ヲ帯フ



中ヨリ出ル異物  
持来ハ







光沢アリウスキ  
福色ニヨキ褐色  
ノ魚アリ大ナルハ  
ウヅマキノ如シ



貝子宝介ト云此大ナルモノ  
稀ナリ何州ノ産ナルヤ不詳

雷鑽

越後谷川邑  
ニ産方言山  
姥ノノミト云  
質スキトオルキミ  
アリ鍾乳床ノ  
如シ

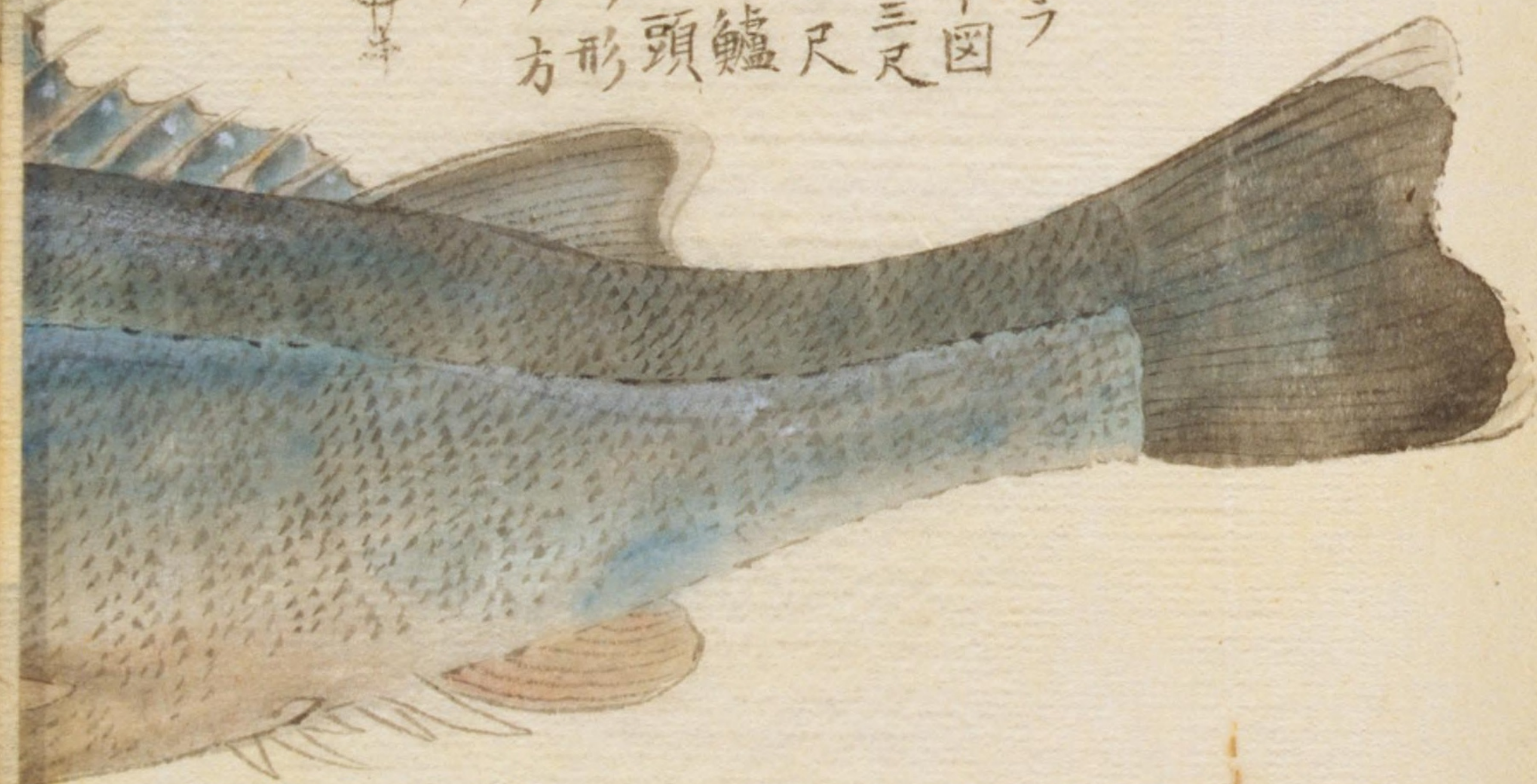


播州産タケブンカニ  
甲ウスカバ足ハウスモイロコフニ入



鮫魚

和訓アラ  
小者如下図  
其大者二三尺  
乃至四五尺  
セイゴ及鱸  
魚ニ似テ頭  
スルドナリ形  
瘦テ尾ノ方  
長ニアリ  
白シ







龍ノ一種異品也

目ノウチ  
毛ハギニ  
モセ少シ上ハ  
キラカケル



魚鋪俗ニ

ワノサメト云由

惣牙砂アリ

ミレ尾共ハ  
緑青ニカクヘシ  
尾ハツケラコシカクヘシ

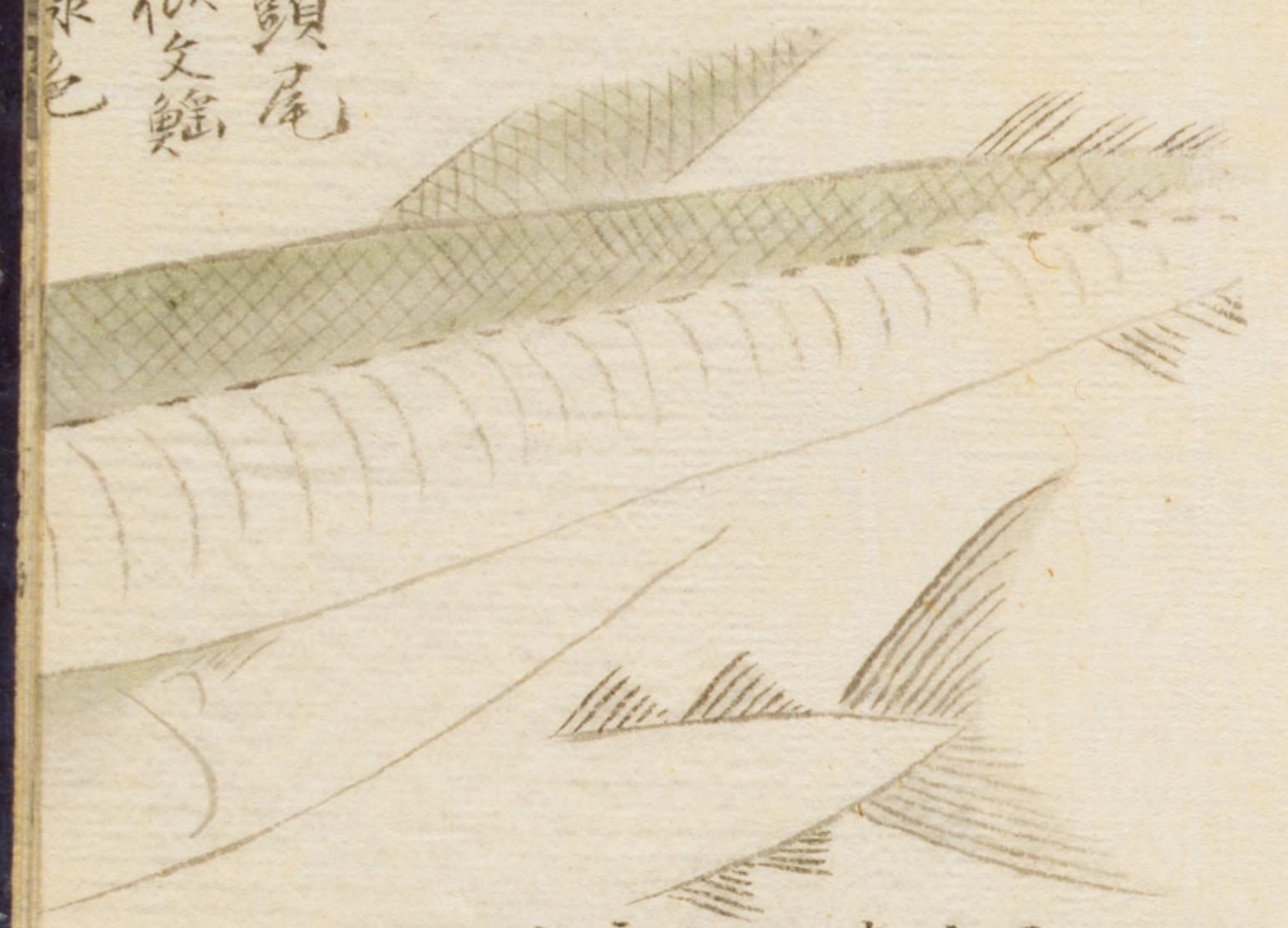
白ミアリ







佐牟馬魚  
 名未詳頭尾  
 細鱗青白似文鯧  
 鱗色



上ツ  
 十月上旬未之形毛肉多ク  
 大抵青ギス及カマスニ似タリ  
 粗鱗色背白光ル至  
 ウス赤ヲ帯フ腹白ク光ル至  
 テ多ク利鋭口大ニ蛇頭ノ如  
 シ眼口鼻ニ近シ舌チクメ  
 鰓アリ味キスノ如シ  
 淡美ニ



○上ツニ八月漢ノ新泉水ニ  
 テ四五寸位ノトレタルアアリ  
 キスニ似タリ又形ハセニ似タリ  
 只惣身ハ大飛基ニ白ツ  
 班魚アリ如地シ口中ウスカハ  
 目ハ口ニ近尾ハヤハズ唇ウス赤シ  
 ニナル

二種



灰イロ

惣身砂アリ  
 午ニ付ク  
 ゴメン中ニ交リアリ  
 色キチ行ヒ

惣身砂アリ  
 午ニ付ク  
 ゴメン中ニ交リアリ

灰赤玉  
 惣身玉光



諸葉を介  
 生シ葉ヲツル  
 ハフフトシ



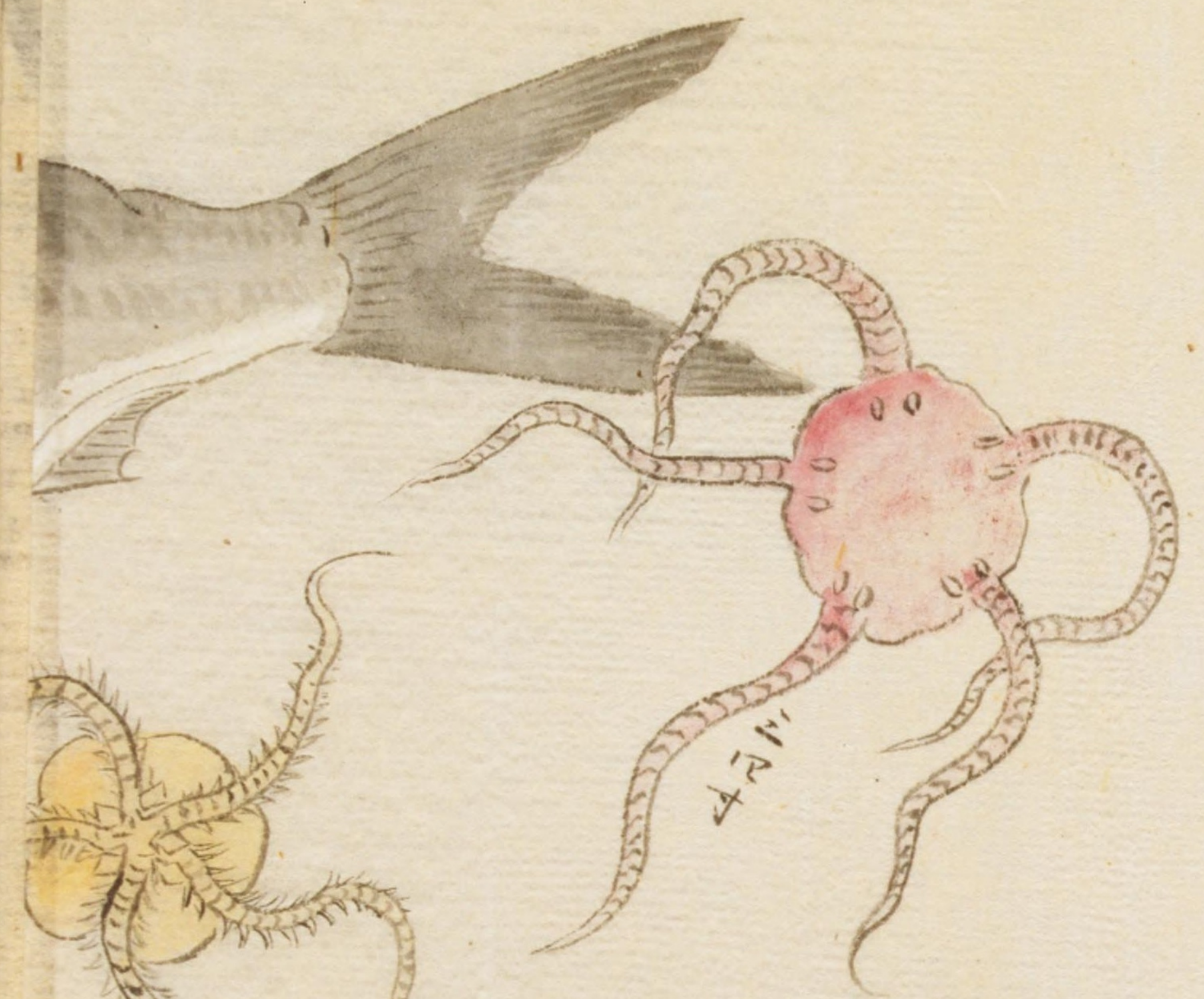




魚石 背無鬣大休  
 如梭魚長身  
 冬月肉厚多脂美  
 味最魚之下品不供  
 飲膳今春夫不食  
 鄙謳云調飯春屋  
 殿佐牟馬子物焼過  
 云々



海盤車 異品  
 羽州飛鳥産  
 方言がサイ名



毛鯉 奇品  
 西国産  
 物身毛アリ目ハ深ク下ニ向ヒ  
 折レコミアリ

模州一谷産  
 人面蟹







魚石



アゴナシ

西国ニ多シ

ヒレノオキト尾ノサキ黒シ  
惣身子ツミイロ

銀イロニ光ル

五月三ハ少シニナシ

此処ハナシ

此処ヨリ唇付ク



鬼面蟹



ニマムシカニ  
タケブシカニ  
ハクシカニ

永良部

大小有之  
琉球徳ノ島ニ  
産ス



灰イロ管(軽)シ  
此知カ(重)シ  
光リアリ  
此知カ(重)シ



灰イロ黒魚ノ如ヘコム  
ヘコム知ハ子ツミイロニ  
ガラツキアリ真中ニ  
孔アリコトハ人作ナリ  
全物ハ孔アルナシ  
ヘリハカレ黒ニアリ

下亥曠月七日間宮白水ヨリ墜定  
ヲ乞ハル此相模川水虎ヲ捕得タル  
頭上ノ骨トテ他ヨリ借与セラレ孔由  
余答ラコレ鯨魚頭上ノ噴孔アリ其如  
ニアル骨ナリ俗ニ海煎鈍ト云廣濶五寸  
尺許ノモノモアリソレヨリ又大ナルモノアリ  
一ナラス形ハ皆一般也







伊豆海中産  
海一ナマ異品  
長尺餘中空而多天  
羅紫彷彿タリ細絲  
ヲ以テアミナスモノ如シ  
頭間キテ月代毛ノ如キ  
モノ觸ル人キヲ刺スニ  
ヨリテ觸ヘカラス頭上  
ニハ可也

コレハホシキウスノ一種高品ナルベシト  
思ヘリ其後今年海老田院ト云テ其  
物如ク小蟹雌雄二個内ニ  
考スニ此小蟹ノ作ル巢  
ヲテテ明メコレモヤリ  
其物ノ遺骸ハ葉  
ルニ具細巧華  
麗ニ及ビ西  
才出  
丹  
丸之







大魚ノ内ニ  
内ニ赭色ノ網ヲハリ  
テアリ

シキリノ函

大小有之中位ノ処  
ニテタ、ミ四枚鋪  
程有リ

薩州ヨリ琉球  
ニ渡ルトクノ島ト  
云ニアリ 華人

私ニ来リテ此魚  
ノ喉ニ生魚二個  
アリ夫ヲ取テ至  
テ貴童ス 乾テ  
携帰ル シキリ  
ハ兼テテ食

ト云此シキリ肉軟  
易腐爛食フ  
ヲ知ラズト云

丹洲云此箇極拙而不可為證  
上下鬚胤宜着下體也眼大



口中如此ナル  
魚二個有之



石ニ付ルカキ  
ハシタル跡ナリ  
根ノ石ハ石梅  
ナリ 石蛇  
ツキテ  
アリ





如此口有牙二枚如河豚而腹  
鱈邊有數是噴潮孔也探索

腹ノ方ニ鱈沙アリ

室曆十二壬午年夏四月十八日武別六郷領川下羽田村  
洋中所獲之大魚如下圖俗名滿牟保守者也

頭ヨリ尾ニ至ルノ長サ九尺許周圍六七尺許其首ト  
尻ノ大サ等シ全身區クメ土黃色 皺文多ク沙  
有テ鮫皮ノ如ク且甚垢着テ其本色ヲ失フニ至ル  
多肉シメ皮上ヨリ敲キミルニ其堅硬ナル事石ノ如シト云  
一其唇半分ノ見ル所ノ大サ七寸許齒上下  
各一枚アリ其大サ半分ノ見ル所  
六寸許眼珠ノ大サ一寸半許

満房ノ調理ノ法ヲ土漁人ニ問フニ云先肉ト腸ト身ヲ  
三物ヲ取り共ニ水烹ノ能程ニ切り絞テ水気ヲ去リ鍋内ニ  
味噌ヲスリ入レ上火拌之焦着シムルト勿レ色微変スルヲ  
候ヒ<sup>麻油</sup>脂ヲ入レ手ヲ任メス攪セ少醋ヲ加ヘ薑之其味宜ク  
前ノ三物ヲ入レ火ヲ下シ暖ナルヲ啖之味更甘美也云ク  
此物全体脆骨シ海鷄魚及鰻魚ノ如シ土人肉ト共ニ  
食フ可貴モノ非ス唯肉ハ味噌汁ニ煮テ食フニ堪タリ  
軟骨ヲ透<sup>ス</sup>骨ト称ス好事ノ人梅醬汁ニ浸貯テ珍饈ニ  
供ス紅色透明ニ庖厨家ノ奇品也又身腸ト各ル者ア  
リ其形肉ニ非ス腸ニモ非スメ純白ナリ是以此名ヲ得タリ  
尺許ニ截断シ豎ニ劈テハ細織白線條ノ如シ索麩状  
彷彿タリ夏秋暑時ニ冷水ニ浸シ豆汁ニテ食フ至テ雅ナリ



春月ハ醋味噌ニテ食フ珍客ヲ饗食スルニ足レリ

一鬣四個アリ脊ヒレニ尺許下ヒレ少シ大キニメ

長キヤウニ見ユ但シ少シ許ノ邊ヒナリ上下ノヒレ

共ニヒレトノ横濶一尺四五寸

許ヒレサキ六七寸許又

左右腹ヒレ長サ一尺許

横幅七八寸

一左右腹鰭前ノ死ハ

潮吹也也大サ三寸許

一尻形ハ貨色様ノ如シ

一休異形ニメ甚醜シト云リ

色ハ一休煉ケタルカ如クキタナシ

大ナル者口ヨリ尾ニ至ル

長一尺一二尺

漁人眼ヲ穿来テ兒ニ與ヘ螢火ヲ盛ルニ  
紫白珍籠可愛觀モノナリ其眼ノ輪幅二三ホトアリ  
西迎ハ緑埃ヲ脱ハシ



脂ハ微黄色ナリ酒客ノ最嗜モノ  
ナリ此魚骨肉白色ナリ其身ワタ  
ト称スルモノ殊更潔白ナリ

此モノ食物直ニ目ニ入り  
夫ヨリ腸ニ入菴ノ如シ  
アニコウノ如シ

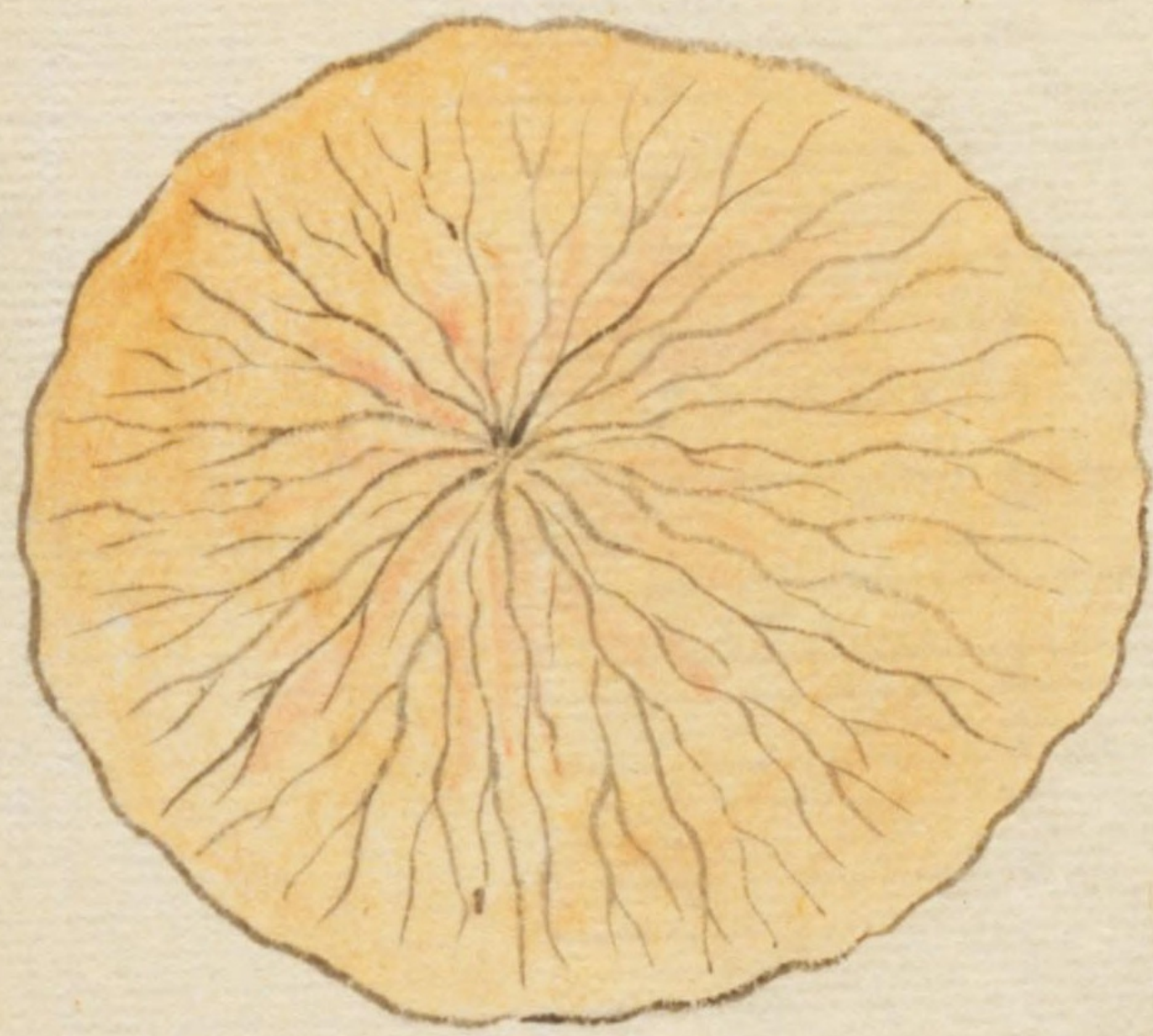




漁人眼ヲ穿チキテ  
 兒ニ與ヘ當火ヲ  
 盛ル際自珍瓏  
 可愛玩モナリ



其眼ノ輪暢  
 一二寸出テ  
 兩辺ハ緑紗キ  
 夕靴ヘシ



肺大者傘ノ如シ  
 キモト稱ス

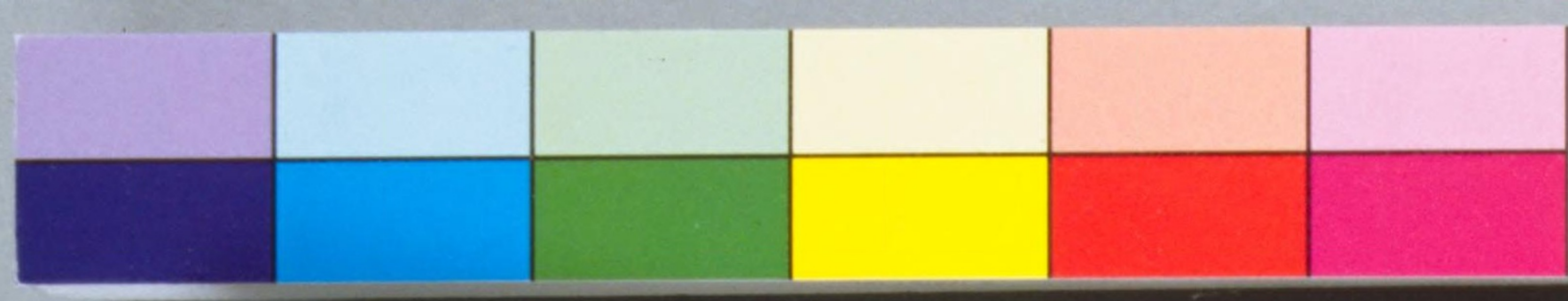


腸大ナル者長六七丈  
 闊テ乾タル形左ノ如シ  
 骨ハ堅クシテ  
 食ベカラス



右ノ小魚ノ満房ハ常陸別岩城ノ江名濱ノ洋中ニ産スル所也  
 ウキハ此物ノ大腸ニメ方言百丈ト稱ス東都ニ上貢シ且遠ニ  
 寄ルニ都テウキト稱ス此魚春冬ハ少ク夏秋ニ多シ大ナ火餘  
 ナル稀也尋常ノ者六尺餘小者三四尺ニ不滿モアリ其性甚鈍シ  
 波上ニ熟睡ノ漁舟ノ近クヲ知ラス即モリノ柄ニ繩ノ付タル三稜錐ノ  
 如ナル鎗ニテ投突テ鯉船ニテ獲ルナリ大者海中ニ割分故ニ漁  
 人ナラテハ見難シ其小二三尺者ヲ全體ニテ持來ル其状如囚  
 全身灰白色腹微白沙アリ鱗皮ノ如シ口至テ小シメ食物鱈ニ  
 降レリト云。其浮木ト稱スル者ハ腸ヲ製メ右名ツク漁人獲之  
 六船至ヨリ其地ノ漁吏ニ報知シ其終ニテ獻ス是腸ノミナリ夏秋ノ  
 内數幾許ト定メテ獲ル毎ニ盡ク納ルニ非ス此ヲ製スルモ漁吏ノ役  
 ニ先カヲ用テ腸ヲ割キ裡面ノ汚垢ヲ藁刷ニテ洗淨シ臭氣尽ル  
 ニ至テ塩藏トス日ヲ經テ取出日曝シ旬餘ニメ此即浮木ト稱ノ四方ニ





一休此魚ハ  
 長シ  
 尾ノキ  
 此処ニテ  
 一休ノ形比シ  
 ハ尾長大ニ  
 尾ノキ  
 尾ノキ

京都ヨリ  
 贈ルアラノ量  
 大者ハ二尺ノ余  
 ニモナル京都モ  
 他カアルモ  
 尾ノキ

寄ル者也其内ハ湿気多ノ乾難シ土人賞味スルノミニ絶テ遠ニ  
 贈ラズ其功能ヤ神脾胃益氣血丸瘡瘍家ノ聖薬タリ等ニ  
 排膿托ノ好肉ヲ生シ諸虚百損婦人産後虚羸乳汁不通及  
 帶下無子等ノ症其功彈シガタレ又一種圓満房ト称スル者アリ  
 余未觀之就漁人親ク問ハ偶星ヲ獲ル<sup>マ</sup>アリ全体一樣ニメ  
 只其狀圓耳寬政庚戌秋月誌







子ツリ 越中  
 シタヒラメ  
 牛ノ舌  
 セツタガレイ  
 クツゾコ



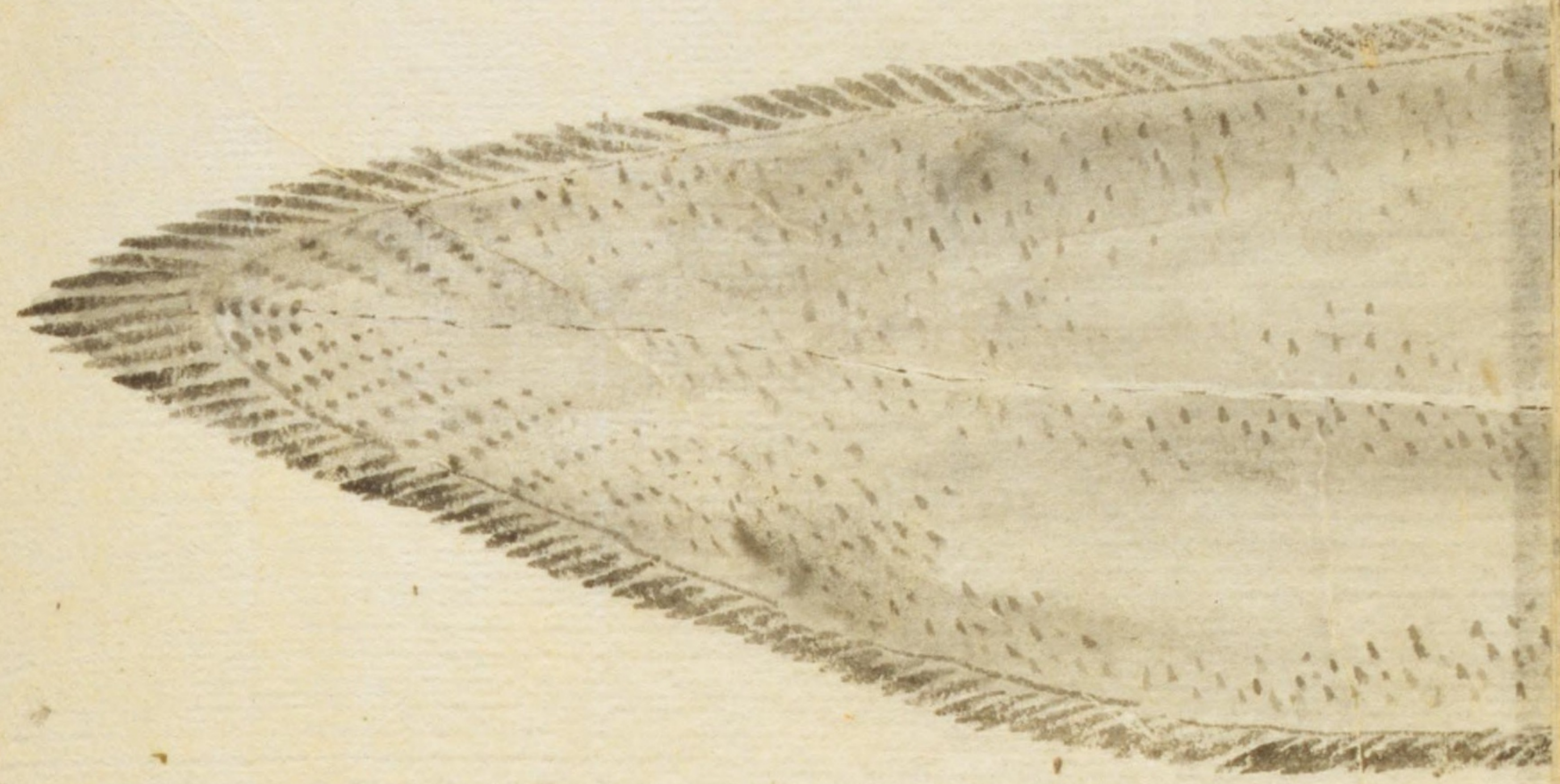
アゴナシ黒田侯ヨリテ亥膳月  
 乾酢ノモノ到赤名不詳由ニテ  
 来ル惣身子ツミイロハラキラミテ  
 着色スベシ銀イロナリ少シモ青ミ  
 ム子細キヒゲノ如キヒレニ條アリ







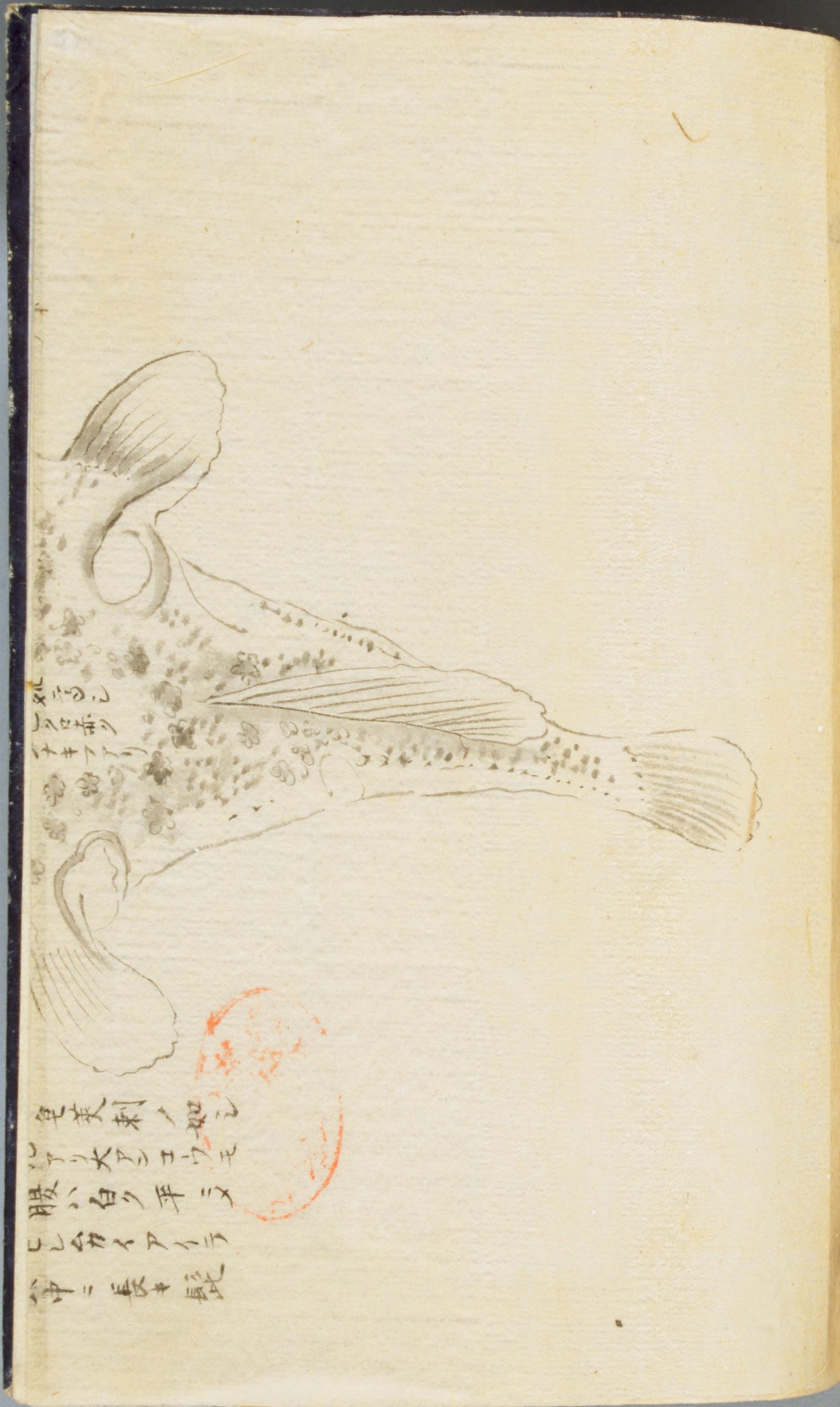
オコヒ



島牛ノ舌  
ミマ子ツツ越中

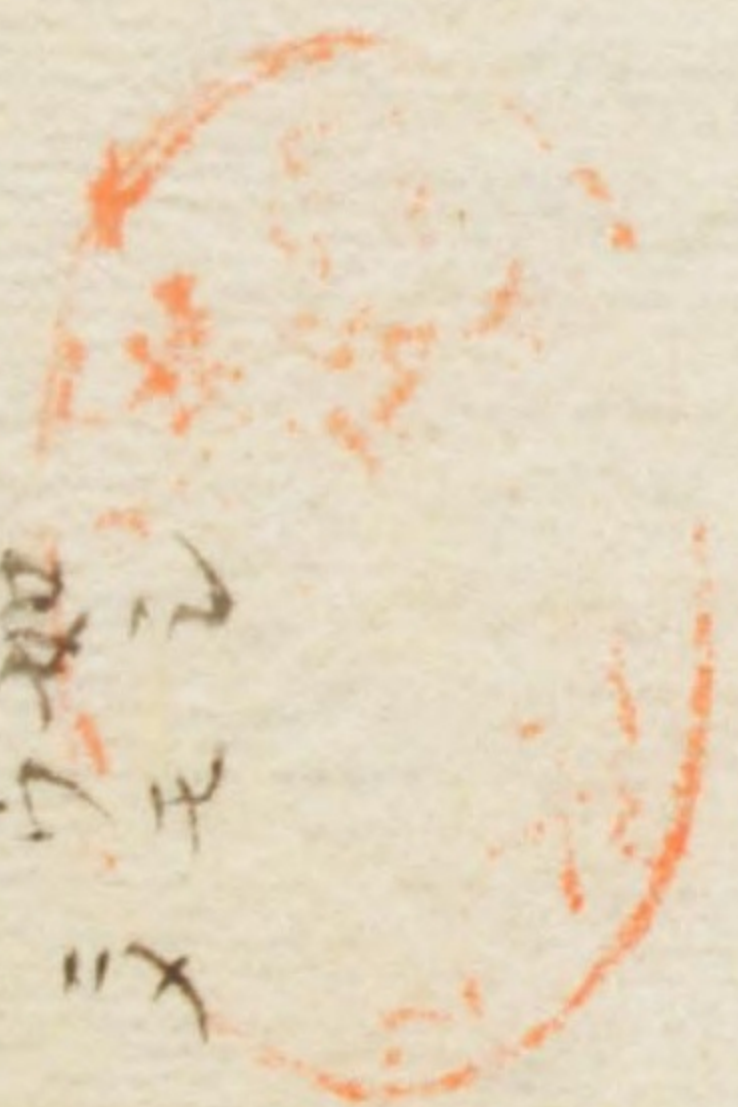






魚の  
名は  
ササ  
ガハ  
ナリ

魚美刺ノ如シ  
行リ水ノエウモ  
腹ハ白ク平ニ  
シカクイアリ  
中ニ長キ髭



ケイチヤウ貝  
俗云海ホウツキハ  
此貝ノ子ナリ  
此貝イネウ  
ト云  
食料ニモ  
ナリテ  
都下  
モ持  
出ル  
モト  
上巻ノ  
漁人  
語リキ





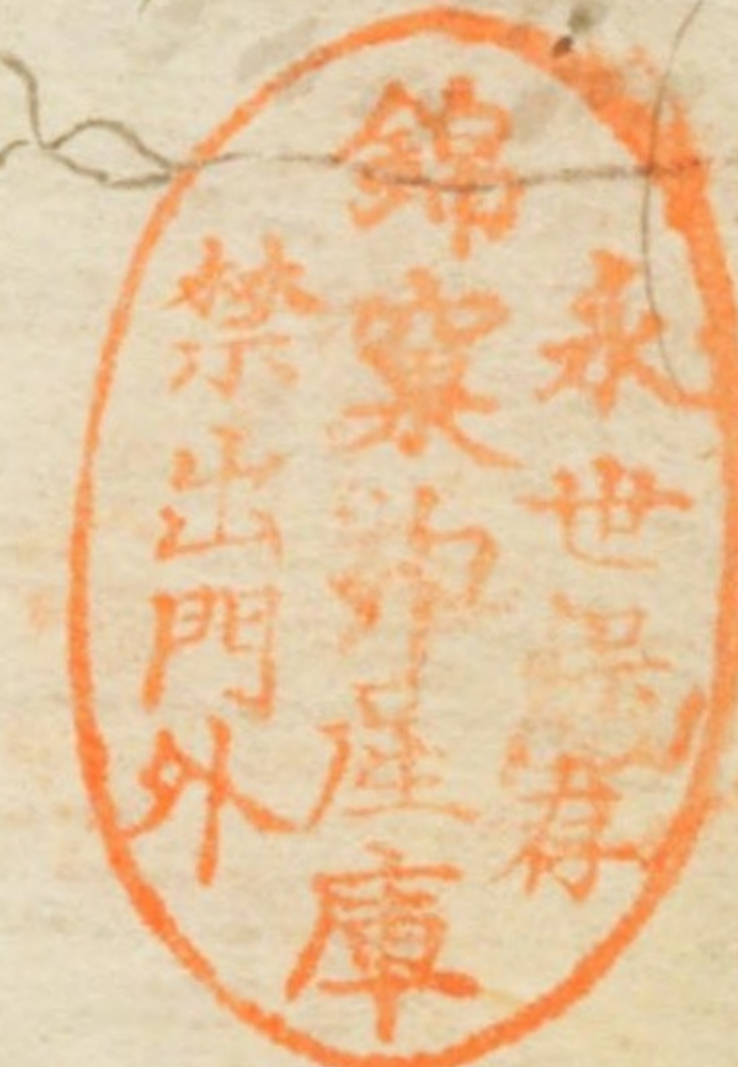
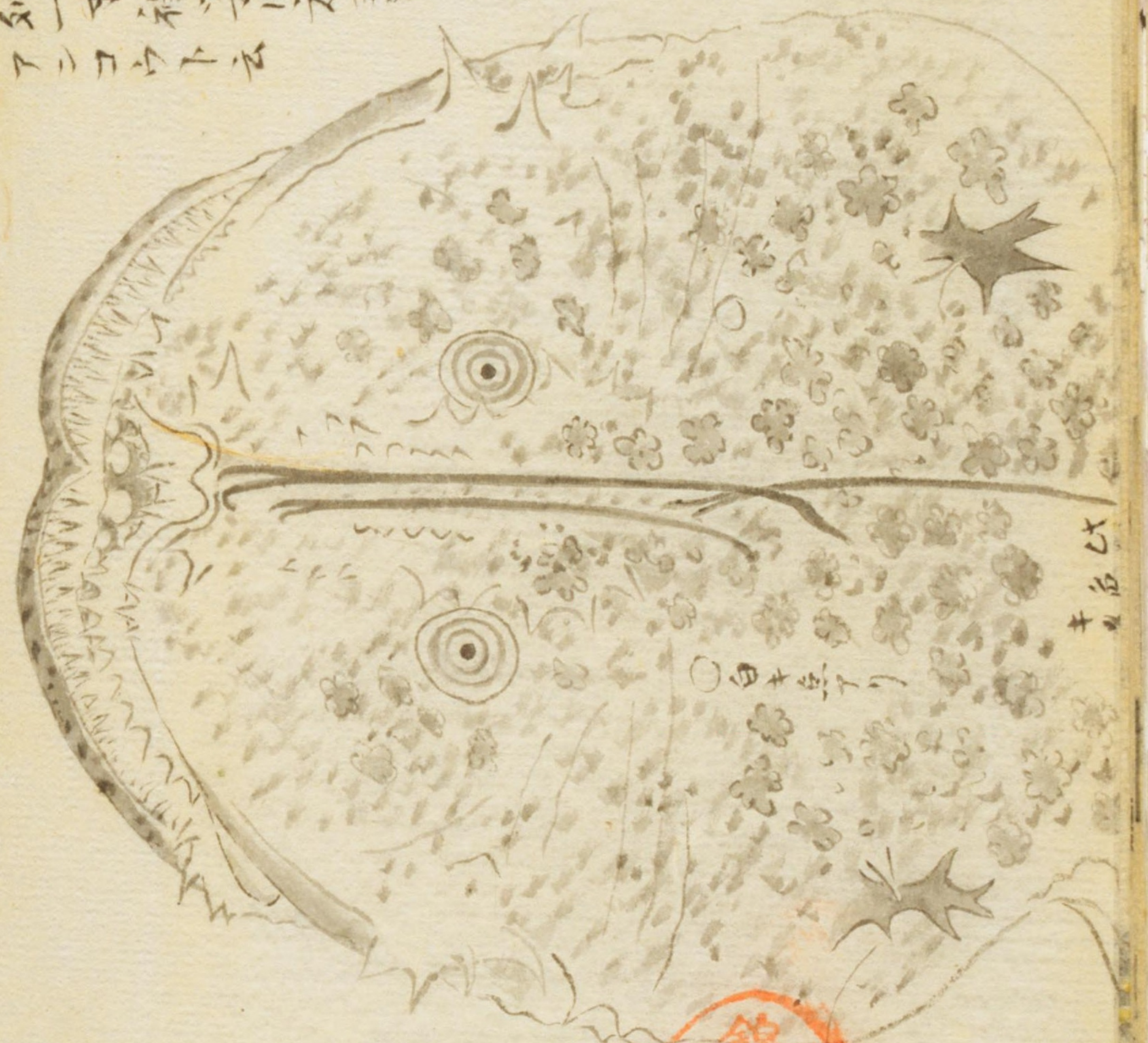


家藏  
栗氏魚譜 銀本 卷三六 卷三八 卷三九  
卷四〇 卷四一 卷四二  
以上五卷足缺  
浮香堂藏印

琵琶魚 一種

成霜月下旬生三寸許ス  
口如一寸程ツル方ヨシ  
クアニコウト云

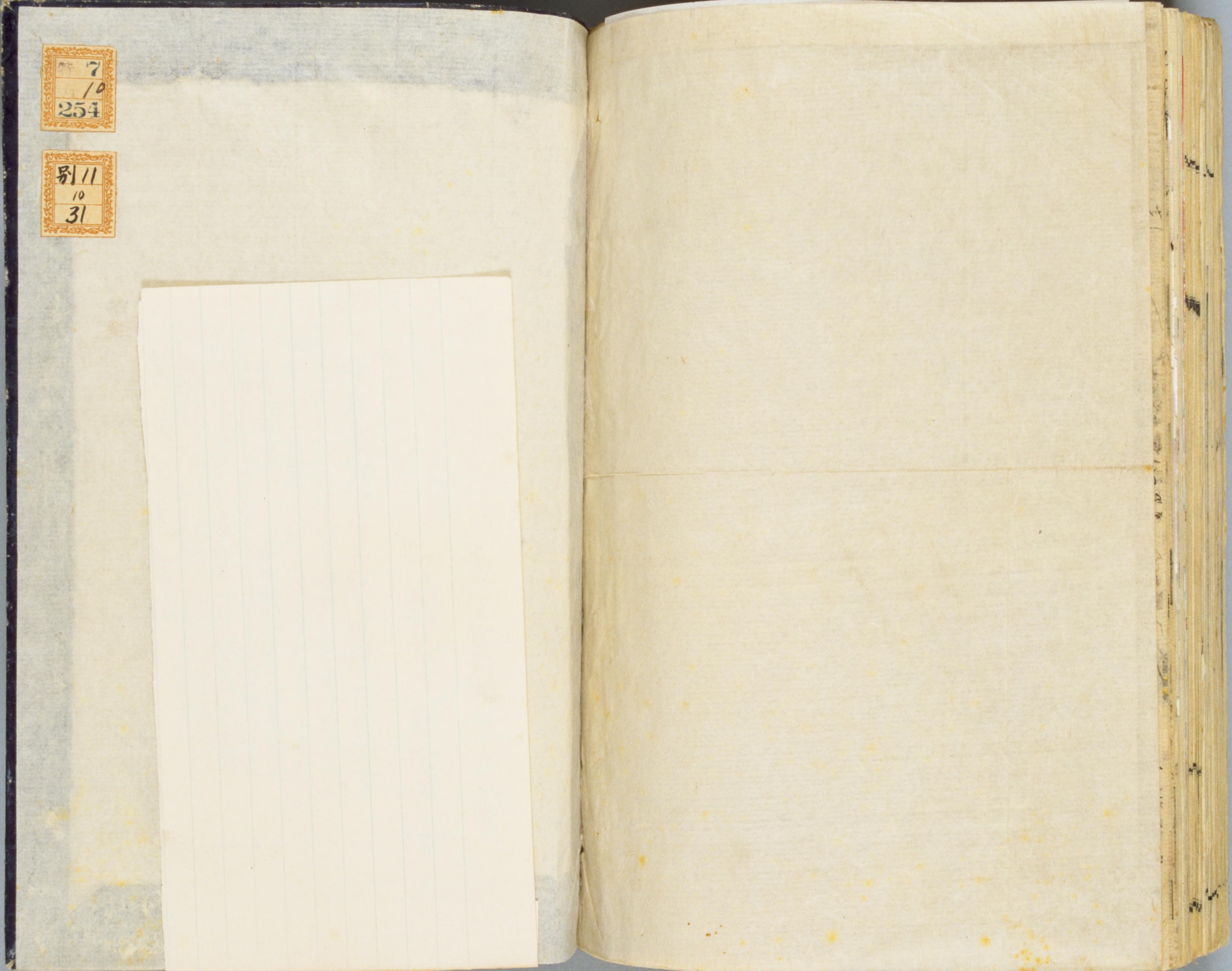
上唇ヨリトシノ  
クハ此長サアリ



此処刺アリ  
トシノ下ニ  
同所アリ  
真中ニ白キ  
付ク鼻ノ直  
二本アリ







7  
10  
254

別11  
10  
31

栗氏魚譜 10冊 寄別11-31 01-156 -A

国立国会図書館





栗本丹洲先生著

(五) 栗氏魚譜

寫本

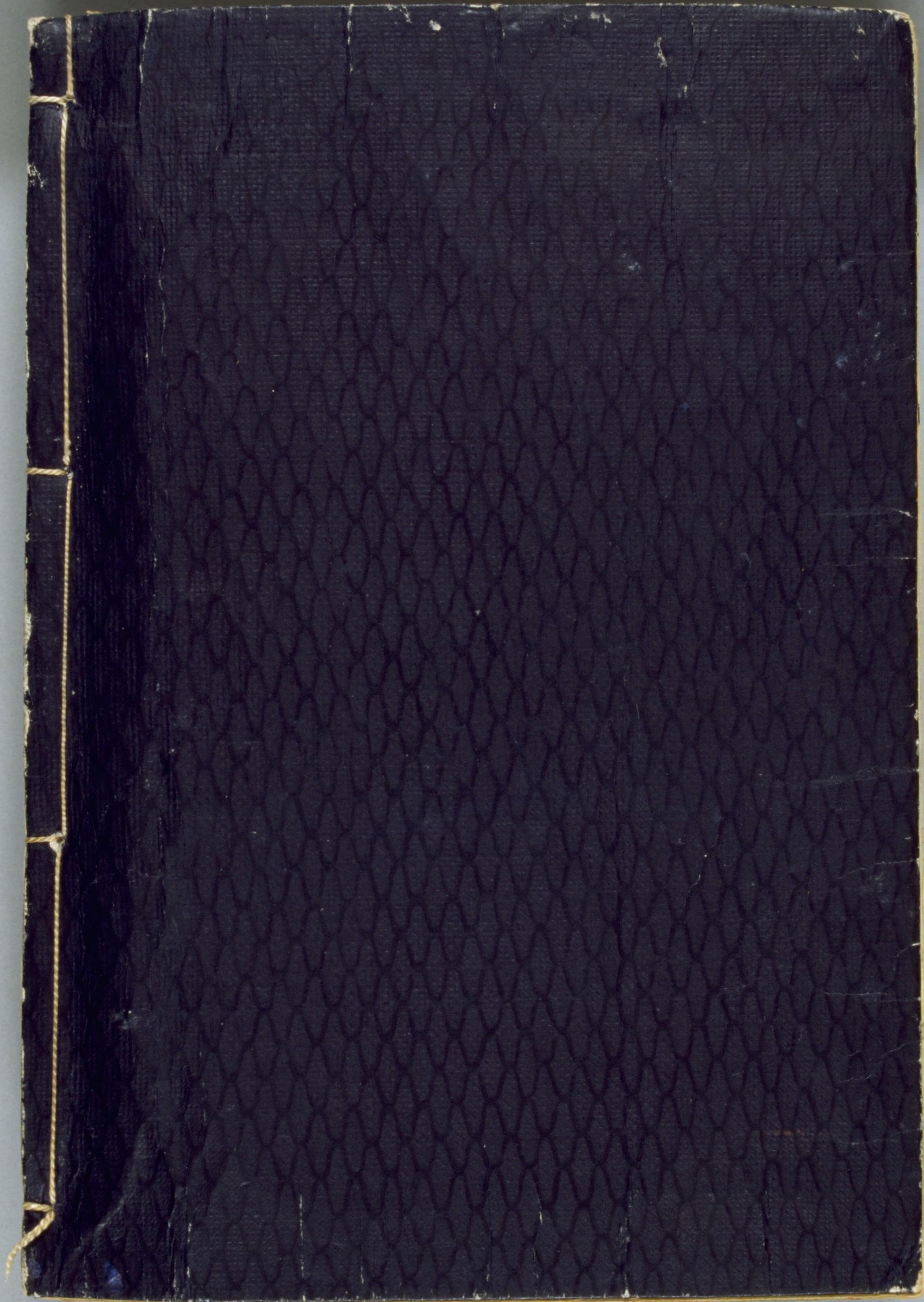
丹海先生ノ跋後、先生孫大淵常範氏カ  
河原稿凡五十一種ト河海通至魚數九十三種トテ振著  
縮寫シテ皇和魚譜ト題シ上梓セルモノ、原本ヲ  
因画精做リ看色鮮麗ナリ而シテ海魚ノ収載セリ  
原稿ハ丹海先生ノ自筆トシテ卷軸トナシテ栗本  
鋪雲石ノ愛藏ニ係ル、當時余カ主イ藤圭介ニ贈行  
シテ本所ニ奉付タルカ、即ニ此ノ稿ニ之ヲ展覺シ、倍  
ニテテ依テ寫ス、伊藤口寫本太郎記

栗氏魚譜 10冊 寄別11-31 01-156 -B

国立国会図書館







栗氏魚譜 10冊 寄別11-31 01-157

国立国会図書館

